

やさしい風

タイトル「やさしい風」には、みんながお互いの権利を大切に自分らしく生き活きと暮らしてほしいという願いが込められています

南山田人権同和問題啓発推進協議会
南山田公民館内（78-8801）

いのちの授業

「折れない心を育てる

いのちの授業」

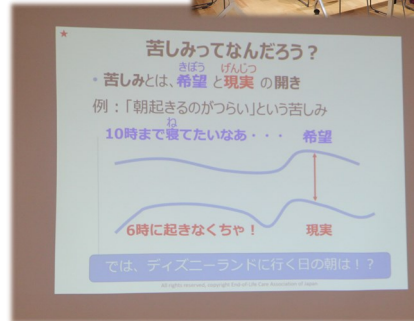
南山田人権・部
落差別解消推進協議会の研修で、いのちの授業認定講師の桐島照美さんをお招きして、「折れない心を育てるいのちの授業」のお話をお聞きしました。



桐島さんは、緩和ケア病棟での看護師の経験から、苦しむ人の力になりたいとの思いから、いのちの授業認定講師として活躍されています。

苦しみとは希望と現実との開き、苦しみから支えに気づく、つらい時にこそ支えとなれる関係、支えがあれば穏やかになれる。そのためには、気にかけること、心の声を聴く

ことの大切さを話して頂きました。苦しみを抱えている人の前で私に出来ることは何か、考えさせられるお話でした。



人権週間について

皆さんご存じのとおり、毎年12

4日〜10日を入権週間と言います。

特にこの一週間は、改めて人権のことを考えてみてはいかががでしょうか。

自分自身の良いところや好きなところ。友人の素敵なところを考えてみると更に好きになるかもしれません。また、思いやりは言葉に多く表れます。自分の言葉で、相手を嫌な気持ちにさせたり、ひどく傷つけてしまうこともあります。しかし、嬉しさを励みを与えることもできます。

言葉で心に刻まれた悲しみや嬉しさは消えることはありません。今一度自身を振り返り、どんな言葉かけたらいいか考え、伝えることが大切だと思います。

今後の予定

・ 10月27日 水俣病歴史考証館視察
(熊本県水俣市)

・ 11月中 人権9課題

・ 12月7日 第22回いのち・愛・

人権フェスティバル